

# ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム  
淡路ふくろうの郷  
広報委員会

洲本市中川原中川原28番地1  
TEL:0799-25-8550  
FAX:0799-25-8551  
ホームページ

<http://hyoufuku.main.jp/fukuro/>

## 明るい兆しを願って

1月6、7日に洲本市五色町にある河上神社へ初詣に出かけました。少し肌寒かったのですが、久しぶりの外出に入居者達にはっこり笑顔でご満悦でした。

## とんど焼き 無病息災を祈願して

1月15日(土) 地域交流会の平野様が入居者の居室・施設のために作ってくださったしめ縄を取り外し、とんど焼きを行いました。

入居者は施設内から様子を見守りました。

書道講座で書いた半紙も一緒に入れて、無事に歳神様を見送りました。その後、お餅やお芋を焼いてみんなで一緒に楽しみ、一年の無病息災を祈願しました。

沖田会長・平野様にはいつも準備のために前日から門松を解体しての、ご支援ご協力に感謝申し上げます。

(生活支援係 神代雅司)

## 春よ来い 節分・豆まき

2月1日(火)に入居者のみなさんと豆まきを行いました。まだまだ寒い日が続きますが、春が待ち遠しいです。



気軽に外出できる状況には時間がかかりそうですが、年の始まりに入居者の方々とお参りすることができて良かったです。

(生活援助係 實生貴之)



# ふくろう物語

## 中野 里江様

### 家族と離れ離れ

昭和20年9月12日に兵庫県栗東郡山崎町塩山にて7人姉弟で4番目の長女として生まれ、6か月ぐらゐの時に、熱病にかかり耳が聞こえなくなりました。生活は苦しく母親に厳しいしつけをされていました。幼少時は次兄の武生様が好きで学校から帰ってくるのを待つて遊んでもらっていました。

昭和27年4月に父親に連れられて姫路ろう学校に入学しました。入学後は寄宿舎にて生活していました。学校では手話は禁止されており口話訓練ばかりでした。優しい先生もいました。が厳しい先生もおりたたかされることもありました。休みの日は、運動場で体操や走ったり、宿題や日記をしたりし過ごしていました。

### 結婚後は家庭に入り

昭和47年5月にお見合いで結婚して、一男一女に恵まれ家庭を支えていました。子供とはホームサインや手話を教え会話していました。ろうあ協会にはあまり参加していませんでしたが、はがきが届き興味がある時は参加しました。また趣味の編み物などもよくしていました。

昭和47年5月にお見合いで結婚して、一男一女に恵まれ家庭を支えていました。子供とはホームサインや手話を教え会話していました。ろうあ協会にはあまり参加していませんでしたが、はがきが届き興味がある時は参加しました。また趣味の編み物などもよくしていました。

夫を平成9年2月に亡くし、平成31年8月まで一人暮らしをしていましたが、脱水により入院となりその後、ケアホームに入所となりました。

家族が面会に来た時は観光をしていました。長期の休みがある時は実家に帰り、姉弟で山や川に出かけて一緒に遊んでいました。父親は在学中の昭和29年になくなりました。

令和2年11月2日にふくろうの郷にショートステイを経て令和3年5月に長期入居となりました。

「幼少期に家族と離れ寄宿舎生活を経験して尚、老いて施設に入居したこと、親から里江さんのことを頼むと言われて、自分も生活があり、会いにこれなかったことがとても気がかりだった。元気な姿を目の当たりにし、胸を撫でおろすことができた」と仰っていました。



▶ 一家だんらん 母親(左から3番目)・里江さん(左)

◀ 集中して取り組む里江さん



里江さんは折り紙を折った際は、職員に折鶴をあげたりルービックキューブに関して

加えて、今後はゆつくりと過ごしてほしいと話されています。職員や入居者達と手話での会話を楽しみ、笑顔が見られます。行事にもよく参加されています。今は難しいですが、外出支援や家族様の来訪を心待ちにされており、来訪時にはとても喜んでいらしたので家族との時間が作れるようお手伝いしていきたいと考えています。

(生活援助係 川崎弘統)



▶ 姪御様の手編みのカーディガンに喜ぶ里江さん(左) 令和3年12月12日

卒業後小崎電機に入社し電気コイル巻きを行っていました。約3年間働いた所で社長より十分な説明がないまま突然、解雇されました。その次に働いたのは小崎の靴屋です。縫製の仕事を2年間勤めました。が結婚を機に辞めました。

令和2年11月2日にふくろうの郷にショートステイを経て令和3年5月に長期入居となりました。

「幼少期に家族と離れ寄宿舎生活を経験して尚、老いて施設に入居したこと、親から里江さんのことを頼むと言われて、自分も生活があり、会いにこれなかったことがとても気がかりだった。元気な姿を目の当たりにし、胸を撫でおろすことができた」と仰っていました。

### 看取り介護研修 最期をどのように迎えたいですか

1月25日(火)職員全体会議で健康看護係の渋谷主任より「看取り介護」についての研修がありました。

淡路ふくろうの郷が看取り介護を始めたのは、平成20年5月からです。これまで淡路ふくろうの郷で息を引き取った方は、約80名(加算算定関係なし)。

看取り介護とは、近い将来、死が避けられない(終末期…余命が3ヶ月以内)とされた人に対し、身体的・精神的苦痛を緩和・軽減するとともに、人生の最後まで尊厳ある生活を支援することとあります。

(全国老人福祉施設協議会看取り介護フォーラムより)



▲実際に看取った介護職員から話を聞く職員たち

淡路ふくろうの郷の看取りの指針としては、疾病や障害を抱えながらも、楽しみやこれまで大切にしていたことを最期のその時まで大切に過ごしていただけるように、生活の延長上としての「入居者ご本人の望む終末期」を本人・家族とともに支える介護を目指します。

旅立たれるまでの経過については、主治医から「終末期」の診断を受け、本人・家族様の同意を得て、ふくろうの郷でできる医療・介護のサポート体制で最期のその時まで過ごしていただけるよう支援していきます。

月単位・週単位・数日前・数時間前の状況を受け止めながら、死というものが人間にとって自然でごく当たり前に訪れるものであり、「生まれて人生を生き、最期のその時を一緒に過ごし看取れることは、有難くとも価値のある仕事」として、支援を通して得た学びを振り返り生かしていきたいと思っています。

看取り介護についてご質問や相談等あれば、いつでもお問い合わせください。

### ★コロナワクチン3回目接種について★

コロナワクチン3回目の接種について、入居者は2月9日・10日に終わりました。職員については2月15日～順次接種を予定しております。



### ふくろうまなびあい文庫 ～島内学校等へ寄贈～

1月14日より、日頃交流のある小学校や洲本市内の中学校、淡路島内の高等学校、特別支援学校、そして島内各市の図書館に、ふくろうまなびあい文庫⑦『経済成長期のじゃま者たち 理由なき精神科病棟への隔離』と既刊である①～⑥を寄贈させていただきました。

寄贈を受けていただけるか不安を抱きながらも各学校に電話を掛けると、「子どもたちの人権学習に活かせる」「是非、図書室の最前列に配架します」といった有難いお返事を多数いただき、一件も断られることなくお配りできたことは、一層の励みとなりました。また新聞社に取材依頼をすると、コラム欄で新刊のことを紹介していただけ、皆さまの目に触れる機会を増やすことが出来て嬉しい限りです。

今後もより多くの方に読んでいただけるよう、普及活動が続けてまいります。また、まなびあい文庫①～⑦の購入申し込みもまだまだ受け付けております。お問合せは淡路ふくろうの郷まで。

(ふくろうまなびあい文庫編集委員 川満和則)

### 2月・3月 ふくろうの暮らし

- 2/15(火) 入居者懇談会  
おのころパン販売
- 2/16(水) ふくろう喫茶
- 2/18(金) 回想法
- 2/23(水) 手話講座
- 2/25(金) ふくろう大学料理講座  
〃 書道講座
- 3/ 1(火) ふくろう大学演劇講座
- 3/ 2(水) 誕生会
- 3/ 4(金) おのころパン販売
- 3/ 7(月) ふくろう理髪店
- 3/15(火) ふくろう大学絵手紙講座  
おのころパン販売



▲「言葉でなくても手話がわからなくても気持ちを通じるよ!」とワークショップ

参加者からは「みんなで歌をうたったり言葉や手話が分からなくても親子で楽しめました」「定期的に対面で集まれる機会の大切さを実感しました、今回の開催本当に良かったです」等の意見をいただきました。今後交流が図れる企画を考えていきたいです。

**手話サークルに入って手話を続けたい!!**

1月14日(金)手話サークルあわじ夜の部と奉仕員養成講座受講者との交流会が開かれました。「手話で話せてうれしかった。サークルに入って手話を続けたい」など受講者からの感想が聞かれました。講師の高見恵美子さんは「前向きに取り組もうとする姿勢に講師としても応えたいとの思いで担当しました。習得した手話を生かし、今後も活動につなげてくれることを願います」とサークル入会への期待を寄せられました。



▲受講者と手話サークルあわじ夜の交流会

**淡路聴覚障害者センター**  
 対面では2年半ぶり  
 輪っはっはっは♪

洲本市港 2-26  
 洲本市健康福祉館 3階

聴覚障害を持つ子と親の交流会を1月15日に中川原ふれあいセンターで開催し、親子4組と特別支援学校等からも先生方が見学に来てくださり、計12名の参加がありました。第10回みんな集まれ輪っはっは♪開催で

す。今回、1歳の方も初めて参加されました。ろう者で演劇専門に歩んでこられた庄崎隆志さんを講師に招き、ワークショップ形式で言葉を使わずに身体を使ってのコミュニケーションで子供から大人まで楽しむことができました。

その後、自己紹介、悩みごとや相談したいことなど自由にお話する時間を設け予定より30分オーバーして終了しました。帰り際には参加された保護者同士で話が弾む様子が見られ、帰るのを惜しむように解散となりました。

**淡路市に住む**

**私たちろう者のことをもっと知って**

淡路市で平成28年に手話言語条例が施行されて6年になります。これを機に教育委員会として市内の小、中学校教職員を対象に手話に関する研修を年1回開催しています。

今回はあわじ特別支援学校 岨香織先生から「聴覚障害とは何か」、また手話サークル津名の平松弘子さんからは「手話についての視点について」、また市内に居住の聴覚障害者からは「差別を受け心が壊れ精神病院に入退院した経験、知らないうちに避妊手術を受けさせられた」等、苦しい

**淡路市手話言語条例にかかる教職員研修会(1/18)**



▶参加の先生方に「私たちのことを知ってほしい」と経験談を話すろう者たち

状況の中で生きてきた私たちのことを知ってほしいとの語りがありました。

法人の大矢暹理事長からは、今回、先生方が大人のろう者について知り、日々向き合っている子供たちとぜひ、繋ぐ橋渡しとなつてほしいと話されました。

また庄崎隆志氏からは先日開催された子ども企画を紹介し(記事上段)、言葉でなくても様々な工夫で通じ合える、障害者とのふれあいや学校での手話学習にも取り入れて欲しいとの話がありました。

### 中川原高齢者・障がい者地域 ふれあいセンター



☎ 656-0002  
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2  
TEL 0799-28-0990  
FAX 0799-28-0992

### イオン洲本店より贈呈

毎年、いただいているクリスマスプレゼント。今年1月14日(金)ミキサー、キッチンスケール2台をいただきました。

おのころ屋には利用者さんからの希望もあり、キッチンスケールを2台頂きました。パン、焼き菓子の材料の計量に早速、使わせていただいています。4人が同時



に使用でき、効率よく作業ができるようになりました。利用者さんからも「役立つ品物を頂けて嬉し  
いです。ありがとうございます。大切に  
使わせていただきます。」との声  
がありました。

(おのころ屋支援員 船越)

### おやつ作りの感想

1月21日(金)おのころの家恒例のおやつ作りを行いました。

1月生まれの濱口佳大さんと直浩さん兄弟の誕生日に何をしようかと聞いたところ、ケーキを食べたいと要望ができました。兄の佳大さんは「作る」と答え、弟の直浩さんは「食べる」と答えたため、佳大さんとケーキを作ることに決定しました。とはいえ、男2人でケーキ作り…なんとも危険な感じがしたため、室内班の利用者



(おのころの家支援員 矢田)

にお手伝いを依頼し、2人が引き受けてくれ4人で行いました。生クリームの泡たてから始まり、飾り付けのいちごの準備、クリーム塗りから仕上げの飾り付けを皆で行い個性的で美味しそうなケーキが完成しました。

その後、皆さんの作業終了を待つて美味しく頂きました。濱口佳大さんの今年の抱負は「何事もがんばります」直浩さんは「田に行つて苗植えを頑張る、草刈りと苗取りを頑張る」と発表していただき、楽しい時間を過ごすことができました。

### 山野信彦様 今までありがとうございました



おのころの家に16年もの長い間、通所された94歳の山野信彦さん。暑い日も寒い日も玉ねぎ作りに熱心に取り組まれていました。

これからも穏やかな時間を過ごしていただきたかったのですが、2月1日に永眠されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

(おのころの家利用者・職員一同)

### 自然災害(地震)・避難訓練を実施しました!



1月31日(月)午後1時30分、おのころ屋利用者・職員計7名で地震発生を想定し、まずは頭部を保護し自分の身を守り、屋外へ避難することができました。

利用者さんは元気な方なのでスムーズに避難できましたが、出入口の問題などについては今後、検討していきたいです。(おのころの家管理者 橋詰)

# 神戸長田ふくろうの杜

〒653-0836 兵庫県神戸市長田区神楽町5丁目3の14の1  
 電話：078-798-7940  
 FAX: 078-798-7941

## 地域の「賑」って!!



▲地域で防犯パトロールをする職員

ふくろうの杜では職員がローテーションを組んで地域の活動に参加しています。その中の一つに防犯パトロールがあります。数年前に地域で起きた事件をきっかけに始まった取り組みで今は月1回職員も地域の安心、安全のため2名で参加しています。1月17日(月)は地域の人達、消防団、区役所の職員、20数名で防犯を訴えました。家々から「ご苦労さま」の労いを受けなが

ら、約40分で詰所に戻り交流し解散となりました。

その取りまとめをされていた新長田北地域まちづくり協議会連合会長の金井さんとお話する機会がありました。金井さんは神戸長田ふくろうの杜の建設運動が始まる前、受け入れ説明会に出席しておられ、「この地域(細田神楽)は厳しい地域だけど、頑張りよ。頑張ったら必ずいいことがあるよ」と励ましてくださった方です。

その時の事を「励みになりました」とお礼を申し上げると「覚えていただき、良かったね」と笑顔でお返事をいただきました。この日のパトロールに別の意味での充実を感じて帰路につきました。(神戸長田ふくろうの杜 管理者 眞木 崇江)

## 運転職員さんと将棋で対決

放課後等デイサービスのふくろうっこでは、運転職員3名が業務の合間によく遊びに来てくれます。

運転職員は60歳代以上で人生経験や知識も豊かで色々教えてもらっています。

朝、ふくろうっこ到着後、運転職員に対戦相手をお願いする子どももがいや、日々将棋の腕に磨きをかけているようです。小さい時から将棋をしてい

る子もいれば、ふくろうっこに来てから将棋を覚えて対戦を挑む子もいます。みんな少しずつ上達して、ふくろうっこ職員が対戦するとどんだん駒を取られ、気づいたら攻め込まれています。ふくろうっこたち、なかなかの腕を持っていますよ!我こそはという方はぜひふくろうっこに将棋の勝負をさせていただいて一緒に楽しんでいただけると幸いです。

また、子どもたちとお話をする中で、聴覚障がい者の歴史について教えていただいたり、阪神淡路大震災での被災のお話など大変貴重なお話も聞かせてくれています。さまざまなロールモデルと出会う機会が多いふくろうっこならではの思っています。(放課後等デイサービス 管理者 山本芙由美)



▲いざ勝負!負けないぞ!

## パート職員募集

### ① ふくろうの杜デイサービス

職 種：支援員・時 間：9:00~17:00  
 募集人数：2名 週2回以上勤務可能な方  
 仕事内容：入浴、食事、排泄介助等

職 種：看護職員・時 間：9:00~17:00  
 募集人数：2名 週2回~勤務可能な方  
 仕事内容：バイタルチェック、服薬確認等

### ② 神戸平野ふくろうの樹(グループホーム)

職 種：世話人・夜間支援従事者  
 時 間：16:30~9:30(23:00~2:00 休憩)  
 募集人数：2名

### ③ まいペース(生活介護)

職 種：支援員・時 間：9:00~17:00  
 募集人数：1~2名 週5日働ける方大歓迎!  
 仕事内容：利用者の支援

職種：看護職員・ 時間：9:00~17:00  
 募集人数：2名 週2回~勤務可能な方  
 仕事内容：バイタルチェック、服薬確認等

### ※ 問い合わせ先

神戸長田ふくろうの杜 眞木  
 TEL 078-798-7940  
 FAX 078-798-7941